

各 位

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

日立製作所の液晶パネル等製造装置事業を承継する新設会社の株式取得について

このたび、ポラリス・キャピタル・グループ株式会社(以下、「ポラリス」)が運営するポラリス第三号投資事業有限責任組合等は、株式会社日立製作所(以下、「日立製作所」)が、液晶パネル等製造装置事業(以下、「対象事業」)を新設分割により分社し、対象事業を承継する為に新たに設立する会社(以下、「新会社」)の発行済み株式の大半を2016年7月1日付で取得することについて、日立製作所と合意に至りました。

対象事業は、微細塗布技術や高精度貼り合わせ技術をコア技術として、液晶パネル製造装置、有機ELパネル製造装置、実装・マイクロボール関連製造装置などの開発、設計、製造、販売、アフターサービスを国内外で展開しており、高度な技術力と顧客サポート力を備えた当業界におけるトッププレーヤーとして、アジアを中心とした大手液晶パネルメーカーや大手半導体メーカーとの信頼関係を築き上げております。

上記既存事業に加え、今後の対象事業の新規事業展開としては、将来において市場拡大が見込まれる LCOS^{*1}・スマートウィンドウ製造向けの ODF 応用プロセス^{*2}や、OLED 関連を中心とした幅広いアプリケーションに展開が可能な薄膜塗布システム事業など、更なる成長ポテンシャルを有していると考えております。

*1 : Liquid Crystal On Silicon/シリコン基板を用いた小型素子。今後はウェアラブルデバイスなどの最先端デバイスでの利用拡大が見込まれる

*2: 対象事業は世界初の One Drop Fill (ODF)方式での量産ラインを確立し、従来プロセスで長時間要していた液晶注入作業の圧倒的短縮を実現した実績を有している

一方、分割対象事業を取り巻く環境としては、パネルの高精細化やデジタル機器の高機能化・小型化が急速に進展するなど市場環境の変化は激しさを増しています。ポラリスは、これまでの製造業案件および大企業カーブアウト型案件を通じて培った知識と経験を武器に、対象事業の強み・特徴を理解し、それを確実に受け継ぎながら、「資金・人・経営の仕組」に関わる実践的で幅広い企業価値向上支援活動を通じて、対象事業の独立企業体として必要な体制をスムーズ且つ迅速に構築し、新会社のグローバル市場における成長戦略の実行を着実に後押しして参ります。

<本件に関するお問い合わせ先>

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

〒100-6738 東京都千代田区丸の内 1-9-1 グラントウキョウノースタワー38 階

プリンシパル 山田 純平

TEL 03-5223-6780

新会社(分割対象事業の承継会社)の概要

設立年月日	2016年7月1日(予定)
代表者	未定
所在地	茨城県龍ヶ崎向陽台5-2(予定)
事業内容	液晶パネル製造装置、有機 EL パネル製造装置および実装・マイクロボール 関連製造装置等の開発、設計、製造、販売、アフターサービス

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社について

設立年月日	2004年9月
代表者	代表取締役社長 木村 雄治
資本金	2億円
所在地	東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウノースタワー38階
運用ファンド	ポラリス第一号投資事業有限責任組合(出資総額296億円) ポラリス第二号投資事業有限責任組合(出資総額319億円) ポラリス第三号投資事業有限責任組合(出資総額391億円)
ホームページ	http://www.polaris-cg.com/